

【活動報告】第2回ワークショップ開催



2026年2月7日(土)、埼玉県熊谷市にて展開中の「熊谷未来デジタルワークショップ」第2回を開催いたしました。

■ 大島副市長からの激励でスタート



オンラインを含め全国各地の学生に参加いただいている本ワークショップ。第1回では欠席者もいたため、参加学生全員が顔を揃えるのは今回が初めての機会となりました。

冒頭には、熊谷市の大島副市長より、ワークショップに参加する学生たちへ改めて本プロジェクトの開催目的や期待についてお言葉をいただきました。その後、学生同士のアイスブレイクを実施。「熊谷の推しポイント」や「将来住みたい街」について語り合うなど、和やかな雰囲気の中でワークがスタートしました。

■ テーマは「仕事・暮らし」。スマートシティの最前線を学ぶ



第2回のテーマは「仕事・暮らし」です。熊谷市の「自然豊かな公園」「商業地や閑静な住宅街」「星川エリア」といった地域の特色紹介に加え、市内で行われているスマートシティの最新事例について解説を行いました。国内外の先進事例紹介では、自身のアイデアのヒントを得ようと、学生たちが熱心に聞き入る姿が非常に印象的でした。

■ アイデア中間発表



今回は、各自のアイデアの中間発表も行われました。事務局による個別の伴走支援を経て、学生たちからは具体的で斬新な構想が次々と提案されました。

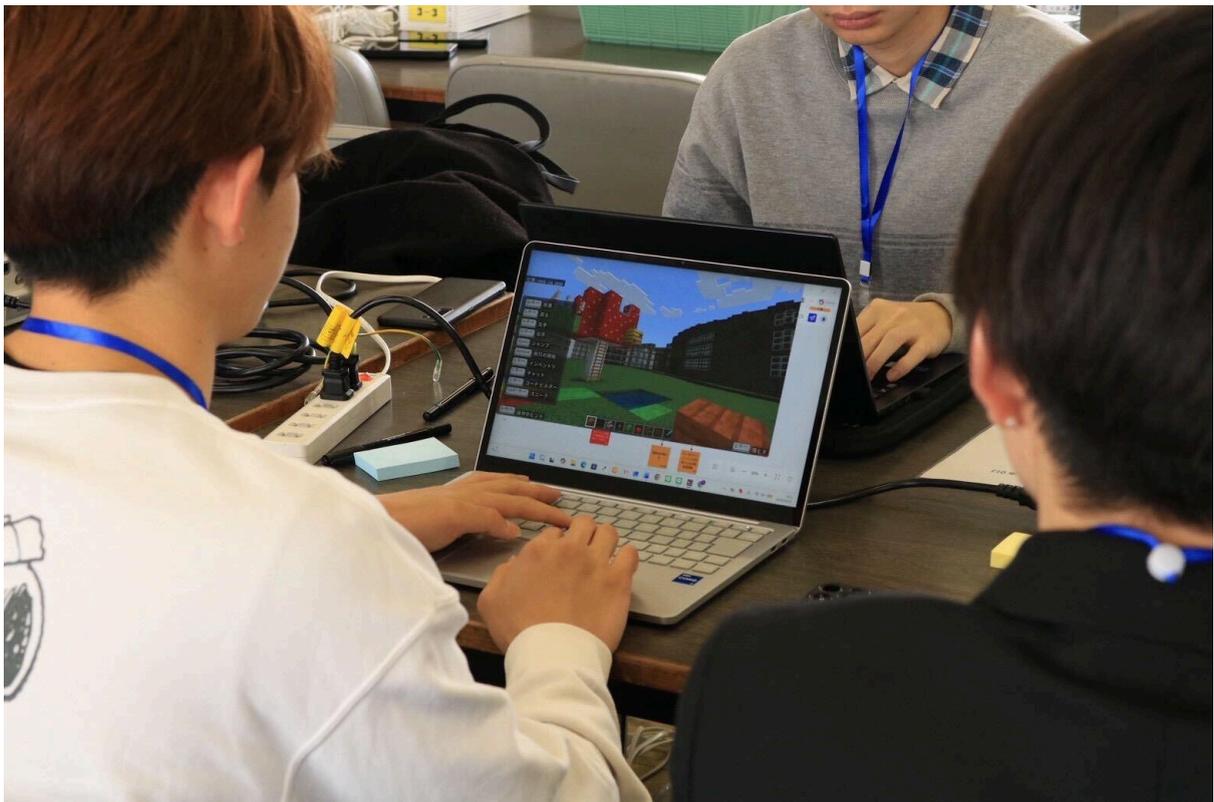
- 実地調査に基づくアイデア：この1ヶ月の間に自ら2回も熊谷市へ「街歩き」に訪れた学生からは、暑さ・寒さ対策として「気温を一定に保つベンチ」の提案がありました。
- 利便性を追求したアプリ：目的地まで「最短かつ日陰を通して移動できるルート」を案内するアプリ開発など、学生ならではの視点で課題解決を目指す意見が多く出されました。

学生同士でも「アイデアを組み合わせればさらに良くなるのでは」といった前向きな意見交換や活発な質疑応答が行われ、互いに刺激し合う時間となりました。

■ マインクラフトでの具現化とブラッシュアップ



後半は、仮想空間「マインクラフト」を用いたデザイン作業の時間です。専門講師から技術的なアドバイスを受けながら、自分のアイデアをどう形にするか、デザイン性や機能性を黙々と追求する学生たちの姿が見られました。初めてマインクラフトに触れる学生もすぐにコツを掴み、自身の考えがデジタルの世界でカタチになっていく過程を楽しんでいる様子でした。



■ 3月の最終発表に向けて

ワークショップの最後には、事務局より「3月の最終発表に向けて、アイデアの深掘りからプレゼン方法まで一丸となって取り組んでいきましょう」とエールを送り、締めくくりました。終了予定時

刻を過ぎてもスタッフと熱心に議論を続ける学生も見受けられ、プロジェクトへの高い熱量を感じる一日となりました。

いよいよ次回は、本プロジェクトの集大成となる最終発表会です。学生たちが一歩ずつ積み上げてきた想いと、マインクラフトの世界で具現化された「未来の熊谷」の姿。彼らの自由な発想がどのような形で結実するのか、事務局としても期待に胸が膨らみます。

地域の未来を真剣に描く学生たちの勇姿を、ぜひ温かく見守っていただければ幸いです。

運営事務局一同、引き続き学生たちと伴走し、熊谷の未来を共に描くこのプロジェクトを全力でサポートしてまいります。